

# 嬉野地区新高校再編整備実施計画

平成 29 年 3 月 27 日  
佐 賀 県 教 育 委 員 会

# 目次

	頁
検討の趣旨 . . . . .	1
「嬉野地区新高校設置準備委員会」での検討経過 . . . . .	1
計画の内容	
1 校名 . . . . .	2
2 めざす学校像 . . . . .	2
3 学級編制と学科(系列)の特色 . . . . .	4
4 教育課程 . . . . .	6
5 特色ある教育活動 . . . . .	15
6 校時 . . . . .	16
7 校舎制 . . . . .	18
(1) 校舎間移動	
(2) 部活動	
(3) 学校行事	
<b>資料1</b> 新高校設置準備委員会設置要領	
<b>資料2</b> 嬉野地区新高校設置に向けた検討体制	
<b>資料3</b> 嬉野地区新高校設置準備委員会委員構成	

## 検討の趣旨

佐賀県教育委員会は、平成 26 年 12 月に「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第 1 次）」を策定し、塩田工業高等学校及び嬉野高等学校の再編を決定した。

計画では、平成 30 年度に現在の塩田工業高等学校（1 学年 120 人（3 学級規模））及び嬉野高等学校（1 学年 120 人（3 学級規模））を再編して、200 人（5 学級規模）とし、学科については現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討することとした。また、地域の生徒数の減を勘案し、平成 31 年度又は 32 年度にさらに募集定員を 40 人（1 学級規模）減じることとした。

これを踏まえ、嬉野地区新高校の具体的な在り方等を検討するために、平成 27 年 4 月に塩田工業高等学校、嬉野高等学校、両高等学校の同窓会・PTA、地元中学校、嬉野市、武雄市、鹿島市の市関係者や教育長並びに佐賀県教育委員会の関係者からなる「嬉野地区新高校設置準備委員会」を立ち上げ、魅力ある新高校づくりを目指した検討を行ってきた。

## 「嬉野地区新高校設置準備委員会」での検討経過

平成 27 年度から平成 28 年度にかけて、「嬉野地区新高校設置準備委員会」を 9 回開催し、新高校設置に向けた検討を行ってきた。また、この委員会は公開とし、その都度、県のホームページ等を通じて、開催案内や協議事項概要等の報告を行い、県民への情報提供に努めた。

これまでの設置準備委員会開催日及び主な検討事項は、次のとおりである。

回	日付	主な検討項目
第 1 回	平成 27 年 5 月 28 日（木）	・委員委嘱 ・新実施計画の概要 ・新高校設置準備委員会検討スケジュール ・めざす学校像
第 2 回	平成 27 年 7 月 28 日（火）	・めざす学校像 ・学科の構成
第 3 回	平成 27 年 10 月 27 日（火）	・めざす学校像 ・学科の構成 ・校舎制
第 4 回	平成 28 年 1 月 7 日（木）	・めざす学校像 ・学科の構成 ・校舎制
第 5 回	平成 28 年 3 月 18 日（金）	・学科の構成 ・校舎制
第 6 回	平成 28 年 5 月 30 日（月）	・平成 30 年度（開校時）の学級、学科構成 ・新高校の校名の検討方法 ・新高校の新校章、新校歌、新制服の検討方法
第 7 回	平成 28 年 7 月 27 日（水）	・教育課程 ・校時 ・校務分掌 ・部活動 ・校名募集の状況
第 8 回	平成 28 年 8 月 29 日（月）	・各種委員会 ・学校行事 ・部活動 ・教育課程 ・職員配置
第 9 回	平成 28 年 11 月 2 日（水）	・新高校の校名（検討結果報告） ・嬉野地区新高校再編整備実施計画（原案）

## 計画の内容

### 1 校名

佐賀県立嬉野高等学校 (さがけんりつ うれの こうとうがっこう)

以下、再編前の嬉野高等学校と区別するため(新)嬉野高等学校と記載

開校時期 : 平成 30 年 4 月

課 程 : 全日制課程

設置場所及び学科

校舎名	塩田校舎 (再編前の塩田工業高等学校校舎 <校地>)	嬉野校舎 (再編前の嬉野高等学校校舎 <校地>)
設置場所	〒849-1411 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲 1418	〒843-0301 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿甲 700
学 科 (大学科)	工業科	総合学科

(再編前の塩田工業高等学校及び再編前の嬉野高等学校の両校舎(校地)を利用する「校舎制」をとる。)

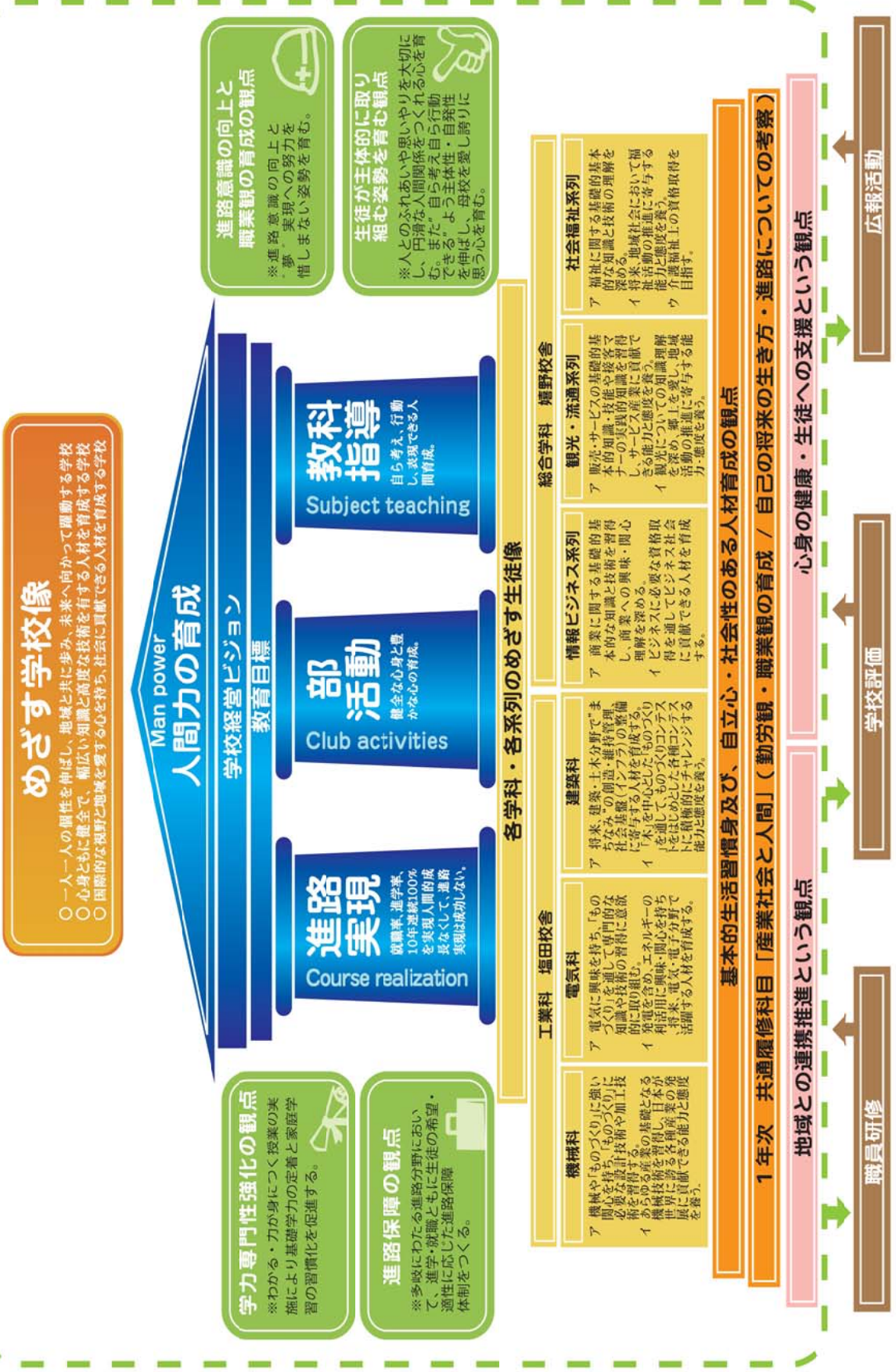
### 2 めざす学校像

一人一人の個性を伸ばし、地域と共に歩み、未来へ向かって躍動する学校

心身ともに健全で、幅広い知識と高度な技術を有する人材を育成する学校

国際的な視野と地域を愛する心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する学校

【(新) 嬉野高等学校コンセプト(グラウンドデザイン)】(案)



### 3 学級編制と学科(系列)の特色

#### (1) 学級編制

新高校では、平成30年度(開校時)に工業科3学科3学級及び総合学科3系列2学級とし、平成31年度又は32年度に工業科3学科2学級及び総合学科3系列2学級とする。

	塩田工業高等学校	嬉野高等学校
平成29年度まで (現在)	<工業科> 120人(3学級) 機械科 40人 1学級 情報技術科 40人 電気科 1学級 建築科 40人 1学級	<総合学科> 120人(3学級) * 情報ビジネス系列 * 観光・流通系列 * 人文科学系列 * 文化教養系列 * 社会福祉系列

校舎		(新)嬉野高等学校	
		塩田校舎	嬉野校舎
年度等			
平成30年度 5学級 200人	<工業科> 120人(3学級) 機械科 40人 1学級 電気科 40人 1学級 建築科 40人 1学級		<総合学科> 80人(2学級) * 情報ビジネス系列 * 観光・流通系列 * 社会福祉系列
平成31年度 又は 平成32年度 4学級 160人	<工業科> 80人(2学級) 機械科 40人 1学級 電気科 40人 建築科 1学級		

工業科を学年制、総合学科を単位制とする。

#### 【年次進行】

平成28年度及び平成29年度入学生は再編前の塩田工業高等学校又は再編前の嬉野高等学校の在籍とし、平成30年度以降の入学生は(新)嬉野高等学校の在籍とする。

	(新)嬉野高等学校		塩田工業高等学校		嬉野高等学校		
	塩田校舎	嬉野校舎					
平成30年度	1年	工業科	総合学科	2年	工業科	2年	総合学科
				3年	工業科	3年	総合学科
平成31年度	1年	工業科	総合学科	3年	工業科	3年	総合学科
	2年	工業科	総合学科				
平成32年度	1年	工業科	総合学科				
	2年	工業科	総合学科				
	3年	工業科	総合学科				

再編前の塩田工業高等学校及び再編前の嬉野高等学校に入学した者は、それぞれの高等学校を卒業することとなる。

なお、両高等学校については、平成31年度末に閉校する。

(2) 各学科の特色

<b>工業科</b>
<b>機械科</b> あらゆる産業の基礎となる機械技術（設計技術・加工技術）を習得し、日本が世界に誇る各種産業の発展に貢献できる人材を育成する。 【取得できる主な資格】 ガス溶接技能講習、機械製図検定、ボイラー取扱技能講習、 3級機械加工（普通旋盤作業）技能士、3級機械保全（機械系保全作業）技能士 等
<b>電気科</b> 電気エネルギーの利活用など電気技術者としての幅広い知識や技術を習得し、電気・電子分野で貢献できる人材を育成する。 【取得できる主な資格】 第一種電気工事士、第二種電気工事士、工事担当者D D第三種、電気主任技術者(第三種) 等
<b>建築科</b> 「木」を中心とした「ものづくり」を通して、建築物を計画、設計、施工、使用までの過程に関する専門的な知識や技術を習得し、建築・土木分野で「まちなみ」の創造・維持管理、社会基礎(インフラ)の整備に貢献できる人材を育成する。 【取得できる主な資格】 2級建築施工管理技士(学科) 測量士補、3級建築大工技能士、建築CAD検定、 レタリング技能検定 等
<b>総合学科</b>
<b>情報ビジネス系列</b> 商業への興味・関心や理解を深めて商業に関する基本的な知識と技術を習得し、ビジネスに必要な資格取得を通じてビジネス社会に貢献できる人材を育成する。 【取得できる主な資格】 全商ビジネス文書実務検定試験、全商商業経済検定試験、全商情報処理検定試験、 全商珠算・電卓実務検定試験、全商(日商)簿記実務検定試験 等
<b>観光・流通系列</b> 旅行業・ホテル業の基本的な知識と技能や接客マナーの実践的知識を習得し、観光についての知識理解を深め、郷土を愛し、地域活動の推進に貢献できる人材を育成する。 【取得できる主な資格】 国土交通省国内旅行業務取扱管理者試験、 日本ホテル協会ホテルビジネス実務検定試験、 全商ビジネス文書実務検定試験、全商情報処理検定試験 等
<b>社会福祉系列</b> 介護福祉士受験資格取得を目指して福祉に関する基本的知識と技術を習得し、地域社会において福祉活動の推進に貢献できる人材を育成する。 【取得できる主な資格】 介護福祉士国家試験受験資格 等

# 4 教育課程

## 工業科

全日制課程 工業科 平成30年度入学生 教育課程表 No.1 (案)

第1年次(平成30年度)

科目	教科	国語	地歴	数学	理科	保健体育		外国語	家庭	芸術	工業						学校設定教科	特別活動												
						体育	保健				工業技術基礎	美術 I	情報技術基礎	各学科履修科目	産業社会と人間															
単位数		2	2	3	2	2	1	2	2	2	3	2	2	2	2	5	2	1												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

第2年次(平成31年度)

科目	教科	国語	公民	数学	理科	保健体育		外国語	工業						特別活動															
						体育	保健		各学科履修科目	各学科履修科目	数学 A	A 群	B 群																	
単位数		2	2	2	3	2	1	2	12	2	2	2	2	2	2	2	2	1												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

第3年次(平成32年度)

科目	教科	国語	地歴	数学	保健体育	外国語	工業						特別活動																	
							英語表現 I	課題研究	実習	各学科履修科目	数学 B	物理		C 群	D 群															
単位数		3	2	2	3	2	5	6	2	2	2	2	2	2	2	2	1													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29



全日制課程 工業科 平成30年度入学生 教育課程表 No.2 (案)

第1年次(平成30年度)

学科	各学科履修科目(5)	
機械科	製図(3単位)	機械設計(2単位)
電気科	電気基礎(5単位)	
建築科	製図(2単位)	建築構造(3単位)

第2年次(平成31年度)

学科	各学科履修科目(12)				A群(2)	B群(2)
	実習(6単位)	製図(2単位)	機械設計(2単位)	機械工作(2単位)		
機械科					原動機	電気基礎
電気科	実習(5単位)	電気基礎(3単位)	ハードウェア技術(2単位)	電子技術(2単位)	通信技術	電気機器
建築科	実習(5単位)	製図(3単位)	建築施工(2単位)	建築法規(2単位)	建築構造	建築構造設計
共通					絵画/手話	身近な化学物質と その性質
進学	各学科履修科目(11単位)				化学基礎	英語表現 I

第3年次(平成32年度)

学科	各学科履修科目(6)			C群(2)	D群(2)
	機械設計(2単位)	製図(2単位)	機械工作(2単位)		
機械科				原動機	自動車工学
電気科	ハードウェア技術(2単位)	製図(2単位)	電子計測制御(2単位)	電力技術	電力技術
建築科	建築計画(2単位)	製図(4単位)		建築施工	建築法規
共通				国語表現/ 商業科目	フードデザイン
進学	各学科履修科目(2単位)	数学B(3単位)		物理(3単位)	英語会話

※ 網掛けについては科目内容を検討中。

【 機械科 】 平成30年度入学生 教育課程表（案）

全日制課程 工業科（機械）

教科・科目			入学年度	平成30年度入学生						
			学年	1年	2年		3年		計	
			標準単位		専門	進学	専門	進学	専門	進学
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2			4	4
		国語表現	3				(2)		0・2	
		現代文A	2				3	3	3	3
	地理歴史	世界史A	2	2					2	2
		地理A	2				2	2	2	2
	公民	現代社会	2		2	2			2	2
	数学	数学	3	3					3	3
		数学	4		2	2	2	2	4	4
		数学A	2			2				2
		数学B	2					3		3
	理科	科学と人間生活	2	2					2	2
		物理基礎	2		3	3			3	3
		物理	4					3		3
		化学基礎	2			2				2
		身近な化学物質とその性質	2～4		(2)				0・2	
	保健体育	体育	7～8	2	2	2	3	3	7	7
		保健	2	1	1	1			2	2
	芸術	美術	2	2					2	2
	外国語	コミュニケーション英語	3	2	2	2			4	4
		英語表現	2			2	2	2	2	4
英語会話		2					2		2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	2	
情報	情報の科学	2	情報技術基礎（2単位）で代替							
学校設定教科に関する科目	産業社会と人間	2～4	2							
各学科に共通する教科・科目小計			20	14・16	20	12・14	20	46・48・50	60	
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2～6	3					3	3
		課題研究	2～6				3	3	3	3
		実習	2～18		6	6	5	5	11	11
		製図	2～10	3	2	2	2		7	5
		情報技術基礎	2～6	2					2	2
		機械工作	2～8		2		2		4	
		機械設計	2～8	2	2	2	2	2	6	6
		原動機	2～6		(2)		(2)		0・2・4	
	自動車工学	2～10				(2)		0・2		
	電気基礎	2～8		(2)				0・2		
	家庭	フードデザイン	2～6			(2)		0・2		
	美術	絵画	2～6		(2)			0・2		
	商業	商業科目				(2)		0・2		
福祉	手話	2		(2)			0・2			
校外学習活動	就業体験									
	知識及び技能審査	1～20								
	ボランティア活動	1～20								
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	14・16	10	16・18	10	40・42・44	30	
総合的な学習の時間			課題研究（3単位）で代替							
履修単位の計			30	30		30		90		
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1			
	生徒会活動		別途計画							
	学校行事									
備考			( )内は選択科目の単位数。 は学校設定科目。 網掛けについては科目内容を検討中。							

## 【 電気科 】

## 平成30年度入学生 教育課程表 (案)

## 全日制課程 工業科 (電気)

教科・科目			入学年度	平成30年度入学生						
			学年	1年	2年		3年		計	
			標準単位		専門	進学	専門	進学	専門	進学
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2			4	4
		国語表現	3				(2)		0・2	
		現代文A	2				3	3	3	3
	地理歴史	世界史A	2	2					2	2
		地理A	2				2	2	2	2
	公民	現代社会	2		2	2			2	2
	数学	数学	3	3					3	3
		数学	4		2	2	2	2	4	4
		数学A	2			2				2
		数学B	2					3		3
	理科	科学と人間生活	2	2					2	2
		物理基礎	2		3	3			3	3
		物理	4					3		3
		化学基礎	2			2				2
		身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2	
	保健体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7
		保健	2	1	1	1			2	2
	芸術	美術	2	2					2	2
	外国語	コミュニケーション英語	3	2	2	2			4	4
		英語表現	2			2	2	2	2	4
英語会話		2					2		2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	2	
情報	情報の科学	2	情報技術基礎(2単位)で代替							
学校設定教科に関する科目	産業社会と人間	2~4	2							
各学科に共通する教科・科目小計				20	14・16	20	12・14	20	46・48・50	60
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3	3
		課題研究	2~6				3	3	3	3
		実習	2~18		5	5	5	5	10	10
		製図	2~10				2		2	
		情報技術基礎	2~6	2					3	3
		電気基礎	2~8	5	3	3			7	7
		電気機器	2~8		(2)				0・2	
		電力技術	2~8				(2)・(4)		0・2・4	
		電子技術	2~8		2				0・2	
		電子計測制御	2~6				2		0・2	
	通信技術	2~8		(2)				0・2		
	ハードウェア技術	2~8		2	2	2	2	4	4	
	家庭	フードデザイン	2~6				(2)		0・2	
	美術	絵画	2~6		(2)				0・2	
商業	商業科目					(2)		0・2		
福祉	手話	2		(2)				0・2		
校外学習活動	就業体験	1~6								
	知識及び技能審査	1~20								
	ボランティア活動	1~20								
主として専門学科において開設される教科・科目小計				10	14・16	10	16・18	10	40・42・44	30
総合的な学習の時間				課題研究(3単位)で代替						
履修単位の計				30	30	30	30	90		
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)			1	1	1	1	1		
	生徒会活動			別途計画						
	学校行事									
備考			( )内は選択科目の単位数。 は学校設定科目。 網掛けについては科目内容を検討中。							

## 【 建築科 】

## 平成30年度入学生 教育課程表 (案)

## 全日制課程 工業科 (建築)

教科・科目			入学年度	平成30年度入学生						
			学年	1年	2年		3年		計	
			標準単位		専門	進学	専門	進学	専門	進学
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2			4	4
		国語表現	3				(2)		0・2	
		現代文A	2				3	3	3	3
	地理歴史	世界史A	2	2					2	2
		地理A	2				2	2	2	2
	公民	現代社会	2		2	2			2	2
	数学	数学	3	3					3	3
		数学	4		2	2	2	2	4	4
		数学A	2			2				2
		数学B	2					3		3
	理科	科学と人間生活	2	2					2	2
		物理基礎	2		3	3			3	3
		物理	4					3		3
		化学基礎	2			2				2
		身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2	
	保健体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7
		保健	2	1	1	1			2	2
	芸術	美術	2	2					2	2
	外国語	コミュニケーション英語	3	2	2	2			4	4
		英語表現	2			2	2	2	2	4
英語会話		2					2		2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	2	
情報	情報の科学	2	情報技術基礎(2単位)で代替							
学校設定教科に関する科目	産業社会と人間	2~4	2							
各学科に共通する教科・科目小計				20	14・16	20	12・14	20	46・48・50	60
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3	3
		課題研究	2~6				3	3	3	3
		実習	2~18		5	5	5	5	10	10
		製図	2~10	2	3	3	4		9	5
		情報技術基礎	2~6	2					2	2
		建築構造	2~8	3	(2)				3・5	3
		建築計画	2~10				2	2	2	2
		建築構造設計	2~9		(2)				0・2	
		建築施工	2~7		2	2	(2)		2・2	2
	建築法規	2~5		2	2	(2)		2・2	2	
	家庭	フードデザイン	2~6				(2)		0・2	
	美術	絵画	2~6		(2)				0・2	
	商業	商業科目					(2)		0・2	
	福祉	手話	2		(2)				0・2	
校外学習活動	就業体験	1~6								
	知識及び技能審査	1~20								
	ボランティア活動	1~20								
主として専門学科において開設される教科・科目小計				10	14・16	10	16・18	10	40・42・44	30
総合的な学習の時間			課題研究(3単位)で代替							
履修単位の計				30	30		30		90	
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)			1	1	1	1	1		
	生徒会活動		別途計画							
	学校行事									
備考			( )内は選択科目の単位数。 は学校設定科目。 網掛けについては科目内容を検討中。							

全日制課程 総合学科 平成30年度入学生 教育課程表 No.1 (案)

第1年次(平成30年度)

教科 科目	国語		地歴		数学		理科		保健体育		芸術		外国語		家庭		情報		商業		選択科目①		選択科目②		総合		特別活動 ホームルーム活動			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		27	28	29
科目	3		世界史 A		数学 I		科学と人間生活		体育 保健		美術 I / 書道 I		コミュニケーション英語 I		家庭基礎		社会と情報		簿記		選択科目①		選択科目②		産業社会と人間		1			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
単位数	3		2		3		2		2		1		2		2		2		2		2		2		2		1			

第2年次(平成31年度)

教科 科目	国語		公民		数学		理科		保健体育		外国語		A群		B群		C群		D群		E群		F群		G群		H群		特別活動 ホームルーム活動	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		29
科目	2		現代社会		数学 A		生物基礎		体育 保健		コミュニケーション英語 I		A群		B群		C群		D群		E群		F群		G群		H群		1	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
単位数	2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		1	

第3年次(平成32年度)

教科 科目	国語		地歴		保健体育		外国語		I群		J群		K群		L群		M群		N群		O群		P群		Q群		特別活動 ホームルーム活動			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		27	28	29
科目	2		地理 A		体育		英語表現 I		I群		J群		K群		L群		M群		N群		O群		P群		Q群		1			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
単位数	2		2		3		2		2		2		2		2		2		2		2		3		2		2			

全日制課程 総合学科 平成30年度入学生 教育課程表 No.2 (案)

第1年次(平成30年度)

系列	選択科目①	選択科目②
情報ビジネス系列	ビジネス基礎 手話 観光基礎	中国語入門 社会福祉基礎 ビジネス実務
観光・流通系列		
社会福祉系列		介護実習(2単位)

第2年次(平成31年度)

系列	A群(2)	B群(2)	C群(2)	D群(2)	E群(2)	F群(2)	G群(2)	H群(2)
情報ビジネス系列	コンピュータグラフィックス/ 観光語学 工業科目	国語表現/ 創作書道/ 中国語基礎	原価計算 旅行業務 I / ホテル実務 I	原価計算 旅行業務 I / ホテル実務 I	ビジネス情報 観光地理	簿記 介護総合演習 (1単位) ここから先の理解 (1単位)	簿記	情報処理(A)
観光・流通系列								情報処理(B)
社会福祉系列	コミュニケーション技術	生活支援技術	生活支援技術	介護過程	介護福祉基礎	介護総合演習 (1単位) ここから先の理解 (1単位)	ここから先の理解	社会福祉基礎 介護実習(6単位)

第3年次(平成32年度)

系列	I群(2)	J群(2)	K群(2)	L群(2)	M群(2)	N群(2)	O群(2)	P群(3)	Q群(2)
情報ビジネス系列	広告と販売促進 (A) / 総合理科 工業科目	国語表現/ 実用書道/ 福祉一般	財務会計 I / ビジネス計算 観光ビジネス実践	財務会計 I / マーケティング	電子商取引	商品開発(A)	ビジネス情報/ プログラミング	ビジネス情報/ プログラミング	総合数学
観光・流通系列								観光ビジネス実践	
社会福祉系列	ここから先の理解	ここから先の理解	ここから先の理解	生活支援技術	生活支援技術	生活支援技術	介護総合演習	介護福祉基礎	介護過程 介護実習(5単位)

※ 網掛けについては科目内容を検討中。

平成30年度入学生用 教育課程表 1 (案)

(課程) 全日制課程 (学科) 総合学科

				平成30年度入学生			合 計	
	教 科	科 目	標準単位数	1年次履修単位数	2年次履修単位数	3年次履修単位数		
必 履 修 科 目	国 語	国 語 総 合	4	3	2		5	
		現 代 文 A	2			2	2	
	地 理 歴 史	世 界 史 A	2	2			2	
		地 理 A	2			2	2	
	公 民	現 代 社 会	2		2		2	
	数 学	数 学 I	3	3			3	
		数 学 A	2		2		2	
	理 科	科 学 と 人 間 生 活	2	2			2	
		生 物 基 礎	2		2		2	
	保 健 体 育	体 育	7~8	2	2		3	7
		保 健	2	1	1		2	
	芸 術	美 術 I	2	△2	}			0・2
		書 道 I	2	△2				0・2
外 国 語	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語 I	3	3	2		5		
	英 語 表 現 I	2			2	2		
家 庭	家 庭 基 礎	2	2			2		
情 報	社 会 と 情 報	2	2			2		
商 業	簿 記	2~5	2			2		
合 計				24	13	9	46	
原 則 履 修	総 合	産 業 社 会 と 人 間	2~4	2			2	
必 修 科 目 合 計				26	13	9	48	
選 択 科 目 合 計				4・6	16・22	19・24	39・52	
総 計				30・32	29・35	28・33	87・100	
校 外 学 習 活 動	知 識 及 び 技 能 審 査		1~20					
総 合 的 な 学 習 の 時 間			3~6	0	1	2	3	
履 修 単 位 数 総 計				30・32	30・36	30・35	90・103	
特 別 活 動	ホ ー ム ル ー ム 活 動 週 当 時 数			1	1	1	3	

平成30年度入学生用 教育課程表 2 (案)

選択科目一覧表

系 列	総合選択科目													自由選択科目									
	基礎科目						基礎以外の科目						教科	科目	標準 単位 数	選択学年				備考			
	教科	科目	標準 単位 数	1年	2年	3年	合計	備考	教科	科目	標準 単位 数	1年				2年	3年	合計	備考				
情報 ビジネス 系列	数学	総合数学	2		2	2	4	学設	商業	マーケティング	2~4		2	2			国語	国語表現	3	2	2	4	
	商業	簿記	2~5	4		4			商業	商品開発	2~4		2	2			理科	総合理科	2		2	2	学設
	商業	原価計算	2~4	4		4			商業	広告と販売促進	2~4		2	2			芸術	創作書道	2	2		2	学設
	商業	情報処理	2~4	2		2			商業	財務会計Ⅰ	2~4		4	4			芸術	実用書道	2		2	2	学設
	商業	ビジネス情報	2~4	2	4	6			商業	ビジネス情報	2~4		4	4			外国語	中国語入門	2	2		2	学設
									商業	電子商取引	2~4		2	2			外国語	中国語基礎	2	2		2	学設
									商業	プログラミング	2~4		4	4			工業	工業科目2年			2	2	
								商業	ビジネス計算	2		2	2	学設	工業	工業科目3年			2	2			
観光・ 流通 系列	数学	総合数学	2		2	2	4	学設	商業	旅行業務Ⅰ	4	4		4	学設	商業	ビジネス基礎	2~4	2		2		
	商業	商品開発	2~4		2	2			商業	旅行業務Ⅱ	4		4	4	学設	商業	コンピュータグラフィックス	2	2		2	学設	
	商業	広告と販売促進	2~4		2	2			商業	ホテル実務Ⅰ	4	4		4	学設	商業	ビジネス実務	2	2		2	学設	
	商業	簿記	2~5	4		4			商業	ホテル実務Ⅱ	4		4	4	学設	商業	観光基礎	2	2		2	学設	
	商業	情報処理	2~4	2		2										商業	観光語学	2	2		2	学設	
	商業	観光ビジネス実践	4		4	4		学設								福祉	社会福祉基礎	2~6	2		2		
	商業	観光地理	2	2		2		学設								福祉	福祉一般	2		2	2	学設	
社会 福祉 系列	福祉	社会福祉基礎	2~6	2	2	4										福祉	手話	2	2		2	学設	
	福祉	介護福祉基礎	2~6	2	3	5																	
	福祉	コミュニケーション技術	2~4	2		2																	
	福祉	生活支援技術	2~12	4	6	10																	
	福祉	介護過程	2~6	2	2	4																	
	福祉	介護総合演習	2~6	1	2	3																	
	福祉	介護実習	2~16	2	6	5	13																
福祉	こころとからだの理解	2~12	3	6	9																		

※ 「介護実習」については、1年次2単位 2年次6単位 3年次5単位 合計13単位の校外実習がある。

※ 社会福祉系列に進むものは、1年次の総合選択科目の社会福祉基礎を選択しなければならない。

※ 網掛けについては科目内容を検討中である。



## 5 特色ある教育活動

1年次に「産業社会と人間」を共通履修科目として設定する。

「産業社会と人間」は総合学科の原則履修科目であるが、これを工業科にも設定し、生徒の勤労観、職業観を育て、自己の将来の生き方や進路についての考察がより深まるような内容とする。

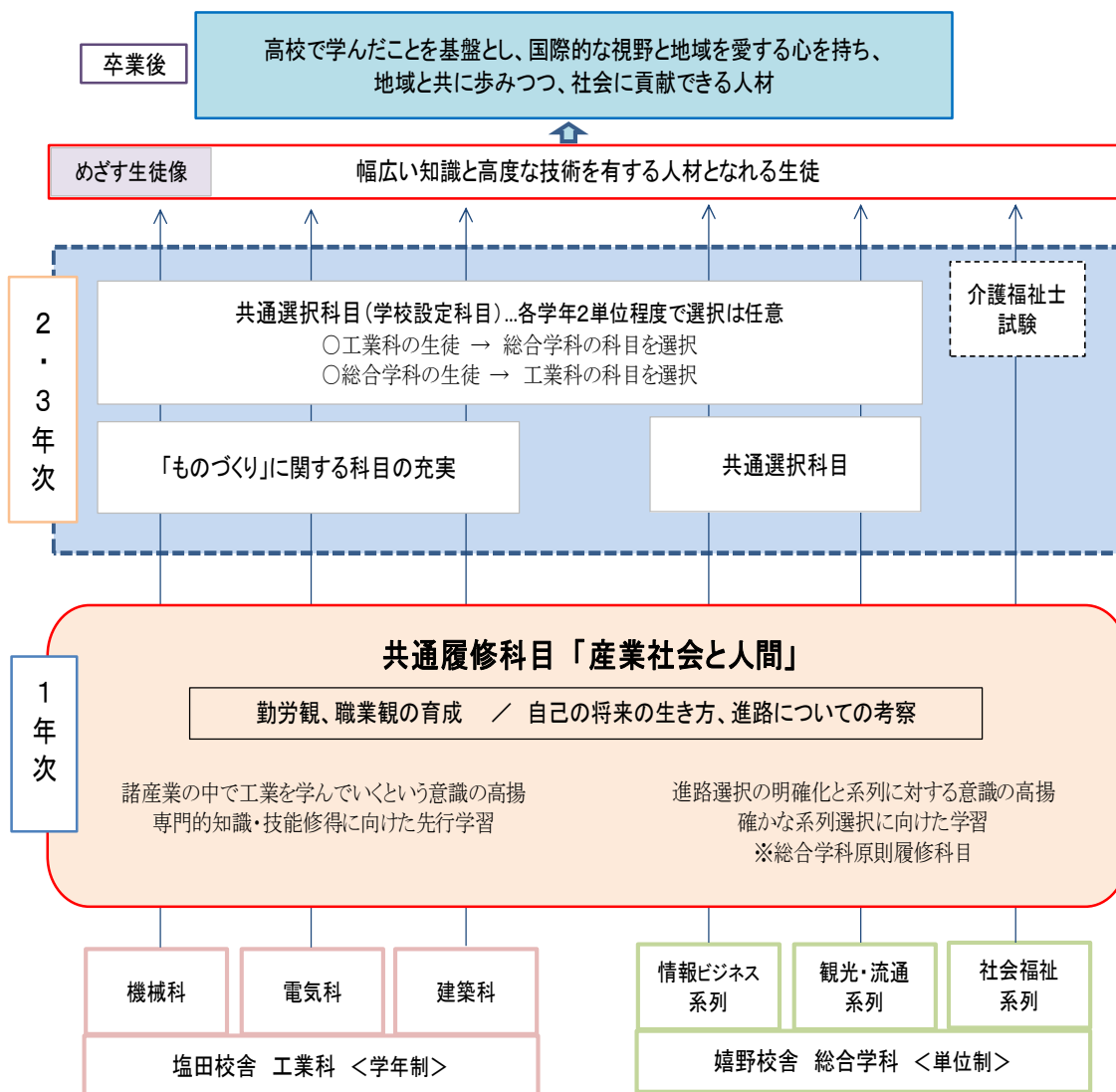
2・3年次には専門性の深化を図りつつ、学科相互の選択科目を設定する。

工業科では実習科目を増やし、「ものづくり」に関する充実を図る。総合学科では共通選択科目を履修する中で、ビジネス、観光、福祉をキーワードとした専門的知識や技術の習得を目指す。また、工業科の生徒が総合学科の設定科目を履修し、総合学科の生徒が工業科の設定科目を履修できるような教育課程とする。

総合学科社会福祉系列に介護福祉士養成課程を設定する。

再編前と同様に、総合学科の社会福祉系列は介護福祉士養成課程とする。これまで培ってきた実績を生かして介護福祉士国家試験合格を目標とし、地域福祉に貢献できる人材を育てる。

<イメージ>



## 6 校時

両校舎とも共通の時間帯とし、週5日間(月～金)のうち、1日を7時間授業、それ以外の4日を6時間授業とする。

### <校時表>

#### ○ 50分6時間授業

	時間帯	分
朝ホームルーム	8:30－ 8:40	10
1限目	8:45－ 9:35	50
2限目	9:45－10:35	50
3限目	10:45－11:35	50
4限目	11:45－12:35	50
昼休み	12:35－13:20	45
5限目	13:20－14:10	50
6限目	14:20－15:10	50
掃除	15:10－15:25	15
帰りホームルーム	15:25－15:35	10

#### ○ 50分7時間授業

	時間帯	分
朝ホームルーム	8:30－ 8:40	10
1限目	8:45－ 9:35	50
2限目	9:45－10:35	50
3限目	10:45－11:35	50
4限目	11:45－12:35	50
昼休み	12:35－13:20	45
5限目	13:20－14:10	50
6限目	14:20－15:10	50
7限目	15:20－16:10	50
掃除	16:10－16:25	15
帰りホームルーム	16:25－16:35	10

【参考資料】

1 登下校時の公共交通機関の時刻表 (平成 29 年 1 月 1 日現在)

登校時

【塩田校舎】  
< JR >

上り	
多良駅	肥前鹿島駅
6:27	6:43
7:26	7:46
下り	
肥前山口駅	肥前鹿島駅
6:46	6:56
7:22	7:32
7:26	7:42

【嬉野校舎】  
< JRバス(平日) >

武雄方面	
武雄温泉駅	嬉野高校
7:16	7:39
7:32	7:55
7:50	8:13
8:06	8:29

< 祐徳バス(平日) >

鹿島方面	
鹿島バスセンター	嬉野高校前
7:25	7:52
7:57	8:23
山内方面	
三間坂駅前	嬉野高校前
6:50	7:15
8:00	8:25
鹿島方面(吉田経由)	
鹿島バスセンター	築城
6:52	7:21
7:42	8:11

下校時

【塩田校舎】  
< JR >

上り	
肥前鹿島駅	多良駅
17:03	17:35
18:04	18:36
18:43	19:14
19:35	19:55
20:36	20:52
下り	
肥前鹿島駅	肥前山口駅
16:22	16:36
17:34	17:36
18:43	19:00
19:45	20:03
20:36	20:57

【嬉野校舎】  
< JRバス(平日) >

武雄方面	
嬉野高校	武雄温泉駅
16:12	16:45
16:42	17:15
17:12	17:45
17:42	18:15
18:12	18:45
18:42	19:15
19:45	20:18
20:15	20:48

< 祐徳バス(平日) >

鹿島方面	
嬉野高校前	鹿島バスセンター
16:36	17:02
17:36	18:02
18:36	19:00
20:07	20:30
山内方面	
嬉野高校前	三間坂駅前
16:08	16:51
18:04	18:29
鹿島方面(吉田経由)	
築城	鹿島バスセンター
17:00	17:29
18:08	18:37
19:35	20:04

肥前鹿島駅から塩田校舎までは約 5.5km (自転車では約 25 分)

2 校舎間地図



< Google map >

## 7 校舎制

### (1) 校舎間移動

校舎間距離：約9 km

生徒の移動

- ・ 授業での生徒の校舎間移動は行わないことを基本とするが、2・3年次の学科相互選択科目に関しては、設定した科目の教育内容や教育効果を考慮しながら、生徒の移動の必要性について検討する。
- ・ 授業、学校行事、部活動で移動の必要性が生じた場合は、バス等の手配も検討する。

### (2) 部活動

再編前の塩田工業高等学校及び再編前の嬉野高等学校に設置されている部活動は、原則として新高校でも存続させる。

#### <設置部活動(案)>

体育部	文化部
野球(男)	美術
サッカー(男)	新聞
ソフトボール(女)	機械研究
バスケットボール(男女)	電気研究
バドミントン(男女)	建築研究
バレーボール(男女)	ボランティア
ソフトテニス(男女)	和太鼓
卓球(男女)	ソングリーディング
柔道(男女)	JRC
剣道(男女)	商業技術
陸上競技(男女)	情報処理
	茶道

部の統廃合や各校舎での配置については、今後調整を行う。

### (3) 学校行事

学校としての一体感を醸成するために、以下の合同行事を設定する。

#### <合同で実施する主な行事(案)>

入学式	卒業式	始業式・終業式	宿泊研修	修学旅行	学習成果発表会
クラスマッチ	学校祭	芸術鑑賞会	全校マラソン大会		

再編前の塩田工業高等学校及び再編前の嬉野高等学校の既存の行事を基本とし、各校舎で開催する行事と両校舎合同で開催する行事については、今後調整を行う。

## 新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日  
佐賀県教育委員会教育長決定  
一部改正 平成17年4月 1日  
一部改正 平成18年7月12日  
一部改正 平成21年4月 1日  
一部改正 平成27年4月 1日

## (設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

## (所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- (1) 新高校の教育内容及び管理運営等に関する事
  - (2) 新高校の施設・設備に関する事
  - (3) 新高校への円滑な移行に関する事
  - (4) 前3号に掲げるもののほか、検討を要する事

## (組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
- 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

## (会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

## (事務局)

- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

## (補則)

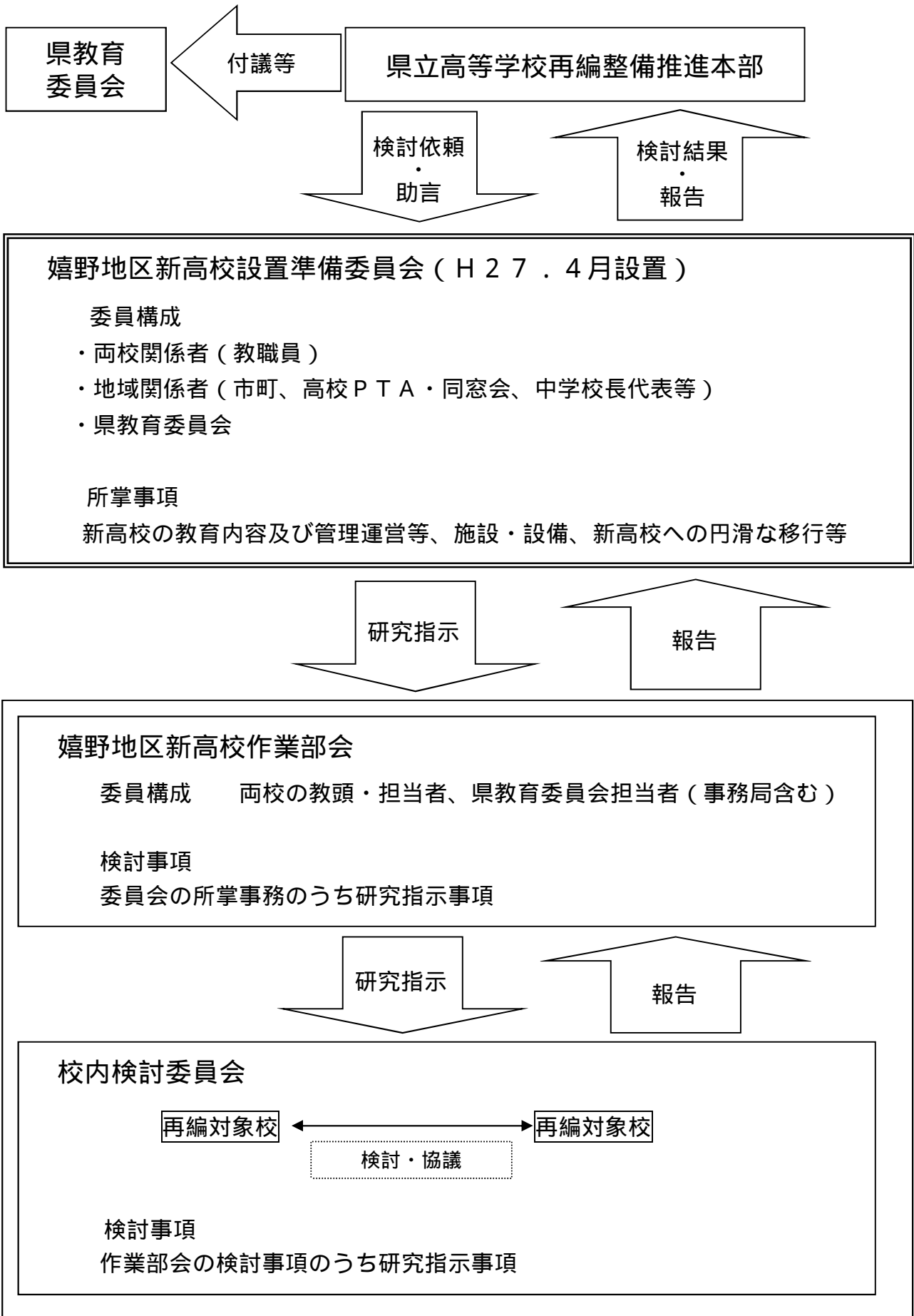
- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

## 附 則

この要項は、平成14年10月21日から施行する。

## 別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校



資料3 嬉野地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考			
1	塩田工業高等学校 校長	副島 政史	委員長・学校関係者			
2	嬉野高等学校 校長	掛園 真樹	副委員長・学校関係者			
3	塩田工業高等学校 教頭	津川 久博	学校関係者			
4	嬉野高等学校 教頭	原 美和				
5	嬉野市教育長	杉崎 士郎	嬉野市	市関係者		
6	嬉野市副市長	中島 庸二				
7	武雄市教育長	浦郷 究	武雄市	市関係者		
8	鹿島市教育長	江島 秀隆	鹿島市			
9	塩田工業高等学校 同窓会代表	西村 利則	地元関係者			
10	嬉野高等学校 同窓会代表	山下 芳郎				
11	塩田工業高等学校 PTA代表	中山 信之				
12	嬉野高等学校 PTA代表	田中 秀則				
13	嬉野市立塩田中学校長	永田 由美	中学校関係者			
14	嬉野市立嬉野中学校長	太田 公治				
15	教育総務課長	熊崎 康春	県教委関係者			
16	教育振興課長	五反田 進				
17	教職員課長	福地 昌平				
18	学校教育課長	松尾 敏実				
19	教育情報化支援室長	碓 浩一				
20	保健体育課長	吉松 幸宏				
21	県立高校再編整備推進室長	原 和弘				
22	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰				
事務局	塩田工業高等学校指導教諭	見浦 浩徳				
	嬉野高等学校教諭	梶原 理世				
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	山下 秀司				
	県立高校再編整備推進室 企画主査	杉本 耕一郎				



